

令和7年10月10日

川崎市立新小倉小学校  
校長 田中 康子

令和7年度 川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査  
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。4月10日(木)～11日(金)に行いました4～6年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、4月17日(木)～18日(金)に行いました6年生対象の全国学力・学習状況調査の結果の概要をまとめましたのでご報告します。本校では学校教育目標(育成を目指す資質・能力、目指す児童像等)の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは児童の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標

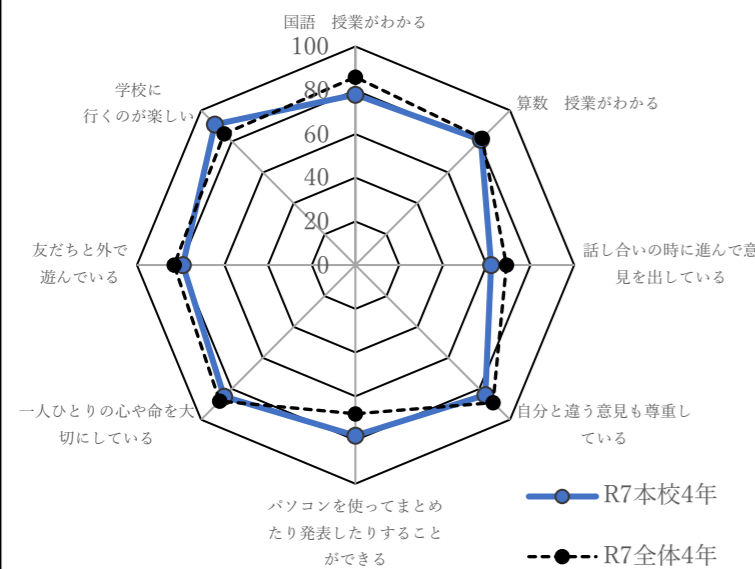
新しい自分をつくる 未来をつくる

視野を広げ、  
多様性を認め合う

主体的に学び  
生かしていく

つながりを持ち、  
考えを深め表現する

令和7年度 川崎市学習状況調査 4年生

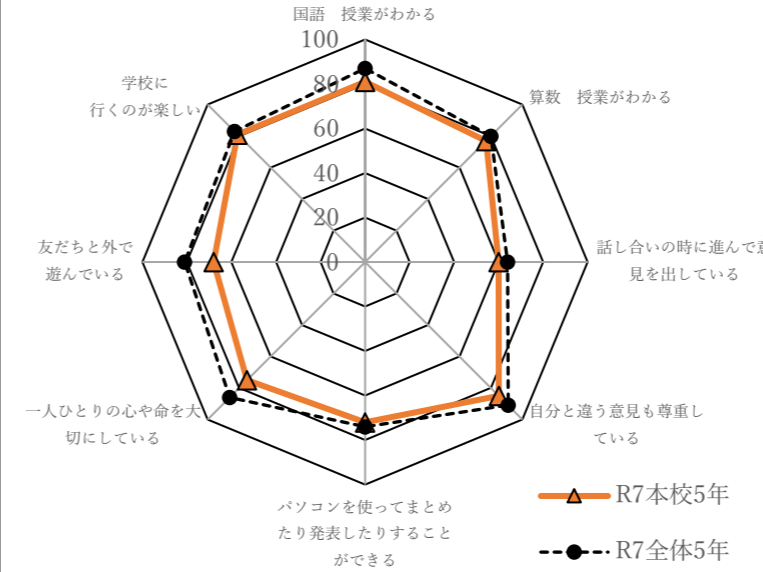


・国語と算数ともに「授業がわかる」の項目は、全体平均よりやや低くなっていましたが「知識・技能」では上回る状況にありました。また同様に「思考・判断・表現」でも、全体平均を上回っており、総じて一定の積み上げが見えています。

・国語の領域では、文章の内容を捉えた上で「書くこと」や「活用」という面で、やや全体平均よりも低い値がありました。また、算数では「数と計算」「分数」や「単位」「測定」などでミスが多く見られており、課題把握や着実な理解という面で力を積み上げられるよう意識していきます。また、これらの項目では個人差も大きかったことから、一人ひとりの状況を把握しながら指導に努めていきます。

・「学校に行くのが楽しい」や「パソコンを使った活動」は全体平均より高い値でした。「外遊び」や「進んで意見を出す」の項目はやや低い値が表れていました。学校生活や学習の中で声かけや指導を行ってまいります。

令和7年度 川崎市学習状況調査 5年生

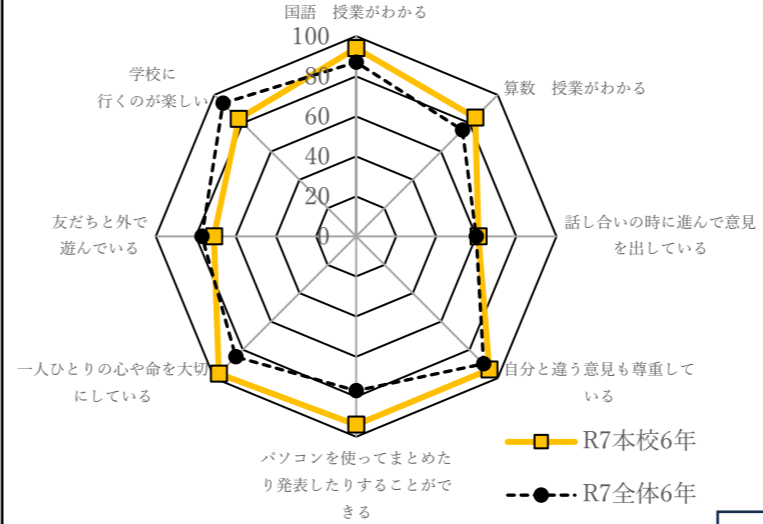


・国語と算数ともに「授業がわかる」と答えた項目では、市全体平均よりやや低い値でしたが、「知識・技能」はほぼ同じ数値になっており、「思考・判断・表現」では、全体平均を上回るという結果でした。

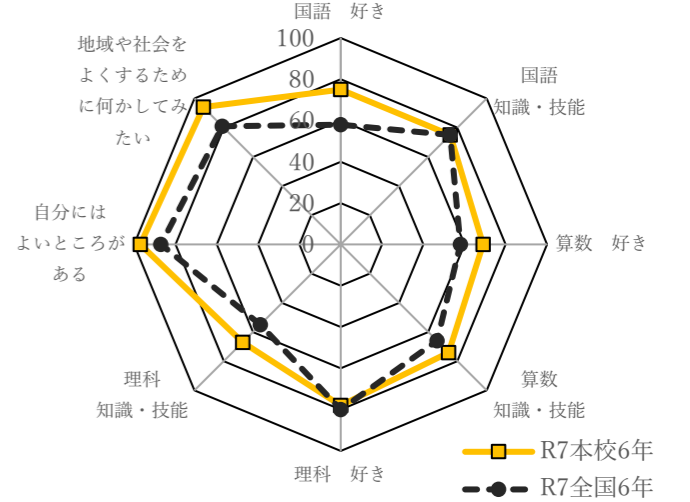
・国語では、「情報の扱い方」の正答率が高く、その他の領域は、全体平均とほぼ同じ値でした。算数では、「分数」や「角」の問題では正答率が高く、「立体図形」や「面積・体積」の問題では正答率が低い傾向がありました。公式を活用して解く問題や、その解き方を書き表すような問題について更なる習熟が図れるよう努めていきます。

・「学校に行くのが楽しい」の値は全体平均とほぼ同数値でしたが、「友だちと外で遊んでいる」「一人ひとりの心や命を大切にしている」の項目では低い値になっていました。言葉を大切にしながら、お互いを認め合い、豊かなかかわりを積み上げていけるよう、学校生活や学習の中で引き続き声かけや指導を行ってまいります。

令和7年度 川崎市学習状況調査 6年生



全国学力・学習状況調査 6年生



・市学習状況調査と全国学力学習状況調査ともに、国語や算数の「授業がわかる」と答えた児童は全体平均を上回っていました。また「国語が好き」「算数が好き」という項目でも同様の傾向が表れており、学習に向かう前向きな意識が感じられます。

・二つの調査ともに国語と算数で全体平均を上回る結果でしたが、調査によって優位な面が異なりました。中でも、市調査の算数「応用」問題では、全体正答率の約72%に対し本校は約87%と高い値で、思考や活用を伴う問題への高い対応力が見られました。一方、「数」や「図形」の基礎的な問題で誤るケースも散見されたこと、また個人差が大きい状況も見られたため、知識・技能の定着を意識しながら協働的に学び、考えを深める姿を目指していきます。

・意識調査の項目では、「自分にはよいところがある」や「地域や社会をよりよくするために何かしたい」という面で肯定的な値が高く表れていました。その力が学校生活への積極的な姿勢につながっていることを感じています。一方で「友だちと外で遊んでいる」「学校に行くのが楽しい」「話し合いの時に進んで意見を出している」の項目ではやや低い値でした。お互いを認め合ったり、進んでかかわる機会を作ったりしながら支援や声かけを行ってまいります。